

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おもちゃ箱いこま		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	LINEを使用して情報共有している。	保護者より睡眠時間、排泄、食事、体調を」報告いただき、スタッフ間で共有している。利用時の様子、取り組み内容を毎回報告している。	LINEでの情報から面談を実施する等、密な連絡を図るようにしている。
2	プログラムミーティングの実施、利用者送迎後の振り返りを実施している。	スタッフの気付きや改善提案を共有しプログラムを更新している。	毎月一回実施しているスタッフミーティングで全スタッフ間で再確認している。
3	年に数回の研修や災害訓練を実施している。	避難訓練を実施する際は複数の避難経路をしようしている。災害伝言ダイヤルを利用し、保護者も訓練に参加している。	訓練実施日に不参加の保護者には後日災害伝言ダイヤルの利用やその使用方法の説明を実施している。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設内に手すりが設置されていないため、補助にスタッフが一名付いている。	重度心身障害者の受け入れを想定していないため。	身体に不自由のある児童が支援を受けやすくなる言動の獲得や、周りの児童が配慮や思いやりを持てるように支援している。
2	保護者に対するペアトレ等を実施していない。	個々のお困りごとの内容が幅広く保護者の支援に向き合う温度差が大きいため。	現状実施している個別の相談に対してそれぞれ対応、助言することを継続する。
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おもちゃ箱いこま			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 2月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数)	27名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 2月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定している。	学校、家族、関係機関との情報共有、連絡調整を行っている。	職員の資質の向上を行なうために、研修の機会を確保している。
2	毎日、利用者が帰宅後、その日の振り返りを実施。その都度職員間で利用者様の課題を共有し、利用者様に今最も必要な療育の内容を検討し取り入れている。	適宜必要な際は、電話、学校面談、支援会議など各関係機関と、情報共有や支援の内容について検討している。家族とも年2回の面談や連絡LINEを用いて情報共有を実施している。	長期休暇中、長期休暇の前月を除いて、毎月全ての参加できる職員と、利用者様の直近の様子や今後の取り組みについて会議を実施している。当日参加が難しかった職員については記録に残し共有している。
3	長期休暇ではイベントが重なり、利用者様の細かい療育の様子まで全体の職員に行き届かない部分があるため、できるだけ全体の職員に行き届くように、議事録などを用いて共有できるようにしていく。	現状、児童発達支援管理責任者が一人各関係機関とやりとりすることが主なため、他の職員もそれぞれの場所に参加できる機会があれば参加していく。	それぞれの利用者様の特性やかかわり方について、引き続きその都度共有し、課題に向けて職員一丸となって取り組めるように意識を向けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされていない。	利用者様の新規の受け入れが滞ってしまっている。	
2	建物自体が、二つに分かれており、エレベーターはあるがその前の扉が重たい。室内も手すりや段差の部分がある。	中学生の利用者様が継続して事業所を利用していることで、空きが確保できない。	
3	引き続き、バリアフリーが必要な利用者様に対して、スタッフが1名補助についていく。	現在、検討中。	